

E-BAR 設定手順

※E-BAR V2 PPC詳細説明書がホームページからダウンロードが可能ですE-BARの設定であてはまる項目を参考にしてください

1	プロボ モデル設定	<p>E-BAR V2 (以下『E-BAR』)を使用する場合は必ず新規のモデルで設定を行って下さい</p> <p>新規モデルのスワッシュタイプ設定を『1S(サーボ) 90°』に設定します</p> <p>ピッチカーブは0~100までの一直線(初期設定)になっている事を確認して下さい</p> <p>※トリム、サブトリムが入力されていないか確認して下さい</p> <p>ここでトリムが入力されていると正しく設定することが出来ません</p>
2	E-BAR、受信機の接続	<p>図を参照しながら接続を行って下さい</p> <p>ラダーサーボは設定後に接続しますのでここでは接続しないで下さい</p> <p>※別紙図1参照</p>
3	PPCの接続	<p>ここからはPPCでの設定項目になります</p> <p>※コネクター接続の際、差し込む向きに注意して接続して下さい</p> <p>下記設定を行う際はPPC設定項目一覧を参照しながら設定を行って下さい</p>
4	スワッシュタイプ設定	<p>PPC設定項目一覧『2-3.』で機体のスワッシュタイプを設定します</p> <p>※別紙図2参照</p>
5	E-BAR搭載方向設定	<p>PPC設定項目一覧『2-1.』で搭載向きを設定を行います</p> <p>※別紙図3参照</p>
6	メインローター回転方向設定	<p>PPC設定項目一覧『2-2.』で回転方向の設定を行います</p> <p>機体を上面から見た時に時計回りは『CW』、反時計回りは『CCW』に設定</p>
7	ミキシング設定	<p>PPC設定項目一覧『3-2.3.4.』でスワッシュプレートとプロボの動作が正しく動作するように設定します</p> <p>機種、プロボにより設定が異なる為、正しく動作する設定を見つけて下さい</p> <p>スティックとスワッシュの動きが逆のときはプロボ側のリバースで設定します</p> <p>※設定の際、ジャイロの補正方向が機体を傾けた方向と逆に補正が入る事を確認して下さい</p>
8	キャリブレーション	<p>PPC設定項目一覧『1.』でキャリブレーションを行います</p> <p>スロットルを中立(センター)にした状態で行って下さい</p> <p>Live Monitorの画面に表示されている数値が全て『00』になるようプロボのサブトリムで調整</p> <p>その後、各スティックをいっぱいまで動かした時の数値が『+100』『-100』になるよう</p> <p>プロボのエンドポイント(トラベルアジャスト)で設定して下さい</p>
9	スワッシュプレート水平設定	<p>PPC設定項目一覧『3-5.6.7.』でスワッシュプレートの水平を設定します</p> <p>スロットル中立(センター)の状態ですワッシュサーボホーンがメインシャフトと直角になるよう数値を設定します</p> <p>スワッシュの水平を合わせるのではなくメインシャフトとの直角を優先して合わせて下さい</p> <p>ピッチゲージを使用し、スロットル中立でピッチが『0°』になるようピッチアームのリンケージを調整します</p>
10	コレクティブピッチ設定	<p>PPC設定項目一覧『4-2.』でピッチゲージを使用しピッチ最大角度を設定します</p> <p>ここまで正しく設定されているとピッチの最大角度が±で均等になります</p> <p>機種によって異なりますが、最初は±12° から始めて下さい</p>
11	サイクルトラベル設定	<p>PPC設定項目一覧『4-4.』にカーソルを合わせると自動でエルロンが切れロックされます</p> <p>ロックされた状態でメインブレードの角度が『8°』になるよう設定します</p> <p>※3Dフライトを行う際はここの角度を上げた方がよく動きます</p> <p>角度の測り方は付属している英文説明書10ページの一番下の図を参照</p>
12	ピッチカーブ設定	<p>ここまででスワッシュの設定は終了ですので念の為、電源を入れ直しスワッシュの動作、スワッシュの水平を確認して下さい</p> <p>確認できたら自分のフライトスタイルに合わせたピッチカーブをプロボで設定します</p>
13	ラダーサーボ パルス幅、周波数設定	<p>PPC設定項目一覧『6-1.2.』で使用するラダーサーボのパルス幅と周波数を設定します</p> <p>※KDS製サーボを使用する場合は初期設定値のまま</p> <p>他社製品のサーボを使用する場合はサーボのメーカーにお問い合わせ下さい</p>
14	ラダーサーボ設定	<p>ここでラダーサーボを接続しPPC設定項目一覧『6-3.4.5.』で動作方向、動作量を設定します</p> <p>※動作量はサーボに負荷がかからないように設定して下さい</p>
15	設定終了	<p>以上で基本設定は終了です、後はテストフライトを行い自分に合った細かい調整を行って下さい</p>

図 1

汎用受信機接続例

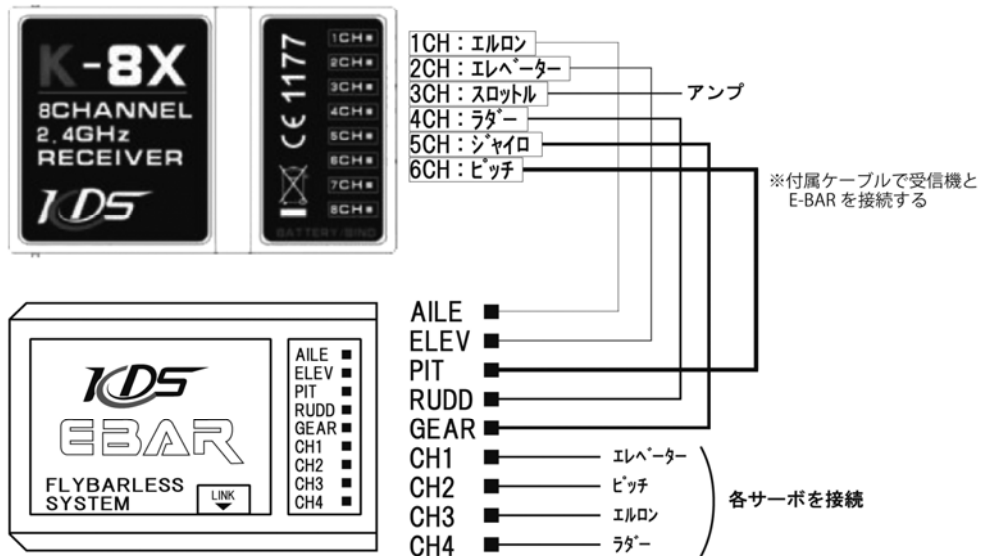
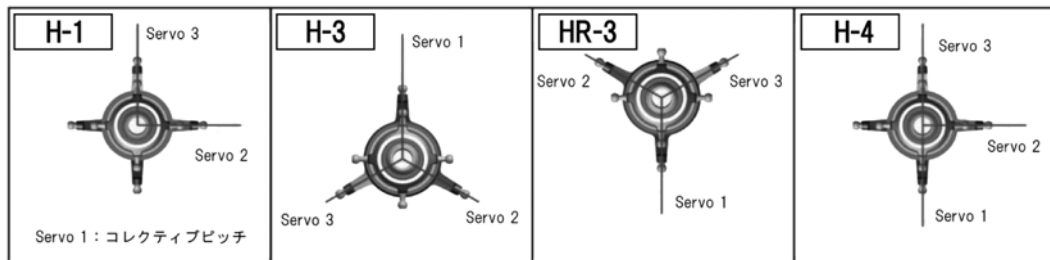


図 2

スイッチタイプ設定



※機体をテール側、上面から見下ろした時のスイッチ形状

図 3

マウント方法&設定

※画像が V2 ですが E-BAR も搭載方法、設定は同じです

